

法人名 特定非営利活動法人 フードバンクいるま

事業計画書

事業名	地域のつながりをつくるフードパントリー事業
種類	(1) SDGs 推進事業 (<input checked="" type="checkbox"/> 人間 <input checked="" type="checkbox"/> 豊かさ <input type="checkbox"/> 地球 <input type="checkbox"/> 平和 <input type="checkbox"/> は「パートナーシップ」) (2) 自立促進事業 (<input type="checkbox"/> 人間 <input checked="" type="checkbox"/> 豊かさ <input type="checkbox"/> 地球 <input type="checkbox"/> 平和 <input type="checkbox"/> パートナーシップ)
1. 事業の目的	<p>コロナ禍、円高による物価高において生活困窮に陥った人々がますます増えています。特に子育て中のひとり親の方々がとてつらい事になっている。市内においての地域の支援ネットワークの地域資源のひとつとして、生活する上で困窮している人達に食料品を提供することで安心感、生きる力をもってもらえるようプラットフォームとしてのフードバンク活動を実施していく。そして支援につなげるひとり親子育て世帯を対象としたフードパントリー活動を実施する</p> <p>この活動は地域の企業、団体、市民の皆様が無料で食料品を寄贈していただき、ボランティアとして参加して下さる地域共生社会活動です。地域の誰もがお互いに協力し合い地域を支えあう体制作りを目的とした事業です。</p>
2. 事業の内容	<p>地域共生社会実現のため食を通じた地域ネットワークを目指す事業 フードパントリー事業</p> <p>(1) 市内で児童扶養手当を受給しているひとり親世帯対象のフードパントリー事業。「いるまフードパントリー茶いんど」という名称で活動しています。2023 年度は 5 回実施予定です。1 回に 150 世帯、450 人 (子ども的人数 230 人) の利用を目標にしています。</p> <p>(2) 地域ミニパントリー 地域を絞って、フードバンク活動、フードパントリー茶いんど、活動で助けること出来ない方に支援を届けるパントリー 年 3 回実施予定</p>
3. 実施計画	<p>(1) いるまパントリー茶いんど (1 回に 150 世帯利用を予定) 子育て世帯の対象のパントリーは Line に登録してもらいその方々に日時を伝え Line に申し込んでもらう方法で実施している。8 月は 2023 年度の登録者宛に Line で発信する。10 月は 9 月の 2023 年度の児童扶養手当申請時に子ども支援課にチラシを配布してもらう。配布したチラシの QR コードから登録をもらい。そのあらたな登録者に Line で実施日時、場所などを発信し申し込んでもらう。 2022 年度は市内で児童扶養手当を受給したのは 1300 世帯ほど、いるまフードパントリー茶いんどに登録した世帯は約 400 世帯ほどです。(登録者は前年度の 1.5 倍)</p> <p>(2) 地域でのミニパントリー (30 世帯~40 世帯を予定) (フードパントリー茶いんど登録者以外の地域での困窮している方)</p>

地域包括センター、自治会の方と共同でその地域の方にチラシうい配布する。令和4年度の3月に〇〇団地で実施した。
36世帯 109名(子ども64名)利用されました。

○スケジュール（令和5年7月21日～令和5年12月31日）

時期	
7月	パントリー準備
8月	19日 いるまフードパントリー茶いど(メモリードホール)
9月	16日 地域ミニパントリー
10月	14日 いるまフードパントリー茶いど(メモリードホール)
11月	18日 地域ミニパントリー
12月	16日 いるまフードパントリー茶いど(メモリードホール)

○広報計画

※フードパントリー茶いどーのチラシ 2000枚

9月の児童扶養手当登録時に子ども支援課に申請用紙と一緒に
おかしてもらい申込者に渡るようにする。

※フードバンクリーレット 1500枚

市役所、公民館、地域包括センター、フードバンクいるまのフードドライブ各拠点に設置する。またイベント等でフードドライブをおこなう時に配布する。

※地域ミニパントリーチラシ 1500枚

実施する地域の民生員や自治会、地域包括センターに困窮していると情報の入っている世帯に配布してもらう

4. 実施体制

地域のつながりをつくるフードパントリー事業実施体制

フードバンクいるま代表理事 田中満枝

マネージメント・広報活動担当 上山武夫（事務局長）

いるまフードパントリー茶いど担当 神山光子

パントリーボランティア担当 神山光子・加藤喜代江

地域ミニパントリー担当 鈴木正敏・加藤喜代江

渉外担当 上山武夫・鈴木正敏・加藤喜代江・

フードバンク、フードパントリー在庫管理担当 佐藤和人

県パントリー担当 千田昇一

会計担当 山内修一

月1回の定例会と必要に応じてのパントリー会議等をおこない情報や進捗状況の共有し

活動をすすめて行く。（尚、個人情報厳守に務め活動していく）

<p>5. 事業の効果</p>	<p>SDGs17の目標うちの1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくり 12 つくる責任つかう責任</p> <p>に関わる活動として行うこのフードパントリー活動を実施する事で、 フードバンクいるまが誰も見捨てない地域社会の実現に活動している ことを認識してもらえる。そして「いるまフードパントリー茶いんど」 や「地域ミニパントリー」を実施して行くことで地域に食を通して 地域共生社会の実現のためのネットワークが構築できる</p>
<p>6. 今後どのように事業を継続し発展させるか</p> <p>※自立促進事業のみ</p>	

◎応募の際に本予算書で計上しなかった経費項目は、事業実施時に支出が生じたとしても対象経費とはなりません。

法人名 特定非営利活動法人 フードバンクいるま

事業収支予算書

1 収入の部

項 目	予算額 (円)	積算内訳
助成希望額 (千円未満切り捨て)	430,000	
自己資金	0	
事業実施による収入等	0	
その他	0	
合 計	430,000	㊤

2 支出の部

項 目	予算額 (円)	積算内訳
会場費		
通信運搬費		
旅費交通費		
消耗品費	380,000	パントリー等で配布する食料品 子供用のお菓子その他ラーメン など食料品代 (¥350000) 袋や文具など雑費 (¥30000)
備品費		
委託費		
謝金		
人件費		
その他	50,000	パントリー用リーフレット、チラシ
合 計 (事業費)	430,000	㊦

収入の部の合計 (㊤) = 支出の部の合計 (㊦)